脱炭素ライフスタイルへの転換による需要創出②

■ ライフスタイルに関係の深い、**住宅の脱炭素化や電動車※の導入を支援**。
■ **脱炭素ライフスタイルへの転換**に向けた取組を更に加速化させていくことが必要。

※ EV：電気自動車　PHEV：プラグインハイブリッド自動車　FCV：燃料電池自動車

ZEH・断熱リフォーム支援
〔3次補正 45億円の内数
R3予算案 110億円〕

戸建ZEH（ネット・エネルギー・ゼロ・ハウス）

開口部の断熱改修

再エネ＋電動車の購入補助
（3次補正 80億円）

これまでの補助額を倍増し、最大80万円支援
充放電設備を合わせると、個人の場合、合計最大195万円支援

EV/PHEV/FCV
※下記要件を満たす場合

＋（オプション）充放電設備 外部給電

・家庭/事務所等の電力を**再エネ100%電力調達**とした場合に限る。
・**モニター参画**に必要なデータの提供が可能であること。（HEMS/BEMS等の導入等）

地域再エネを活用したEV導入
〔3次補正 40億円の内数
R3予算案 80億円の内数〕

小田原市内を中心に、地域再エネで動くカーシェアリング用EV（100台）の導入を支援

EVからの給電

ラストワンマイル配送の電動化
（R3予算案 12億円）

バッテリー交換式電動二輪車

交換式バッテリー

日本郵便の集配用二輪車2,000台の電動化を支援（R2年度）